

事案書（☒経営会議 ☐調整会議）

開催日：平成31年1月22日（火）

担当課：市民経済部 産業活性課

件 名：大和市商業戦略計画について	
提出理由：大和市商業戦略計画を改定するにあたり、その内容について了承を得るため	
内 容： 1. 背景等 - 本市は、平成24年12月に、商業基盤の強化及び地域社会の活性化を促進することを目的とした大和市商業振興条例を制定し、翌年4月に施行した。 - 同条例に基づき、平成26年3月に大和市商業戦略計画を策定し、商業振興施策を推進している。 - 平成30年度をもって、現計画の期間が終了するため、平成31年度以降に向けた計画の改定が必要である。 2. 計画の概要 (1) 計画の位置づけ - 健康都市やまと総合計画の個別計画として位置づける。 (2) 計画期間 - 健康都市やまと総合計画前期基本計画との整合を図り、平成31年度（2019年度）から平成35年度（2023年度）までの5年間とする。 (3) 大和市商業の課題 ①個店の魅力や競争力の向上 ②縮小・散逸化しつつある商店街の機能回復 ③多様化するニーズへの対応 ④駅前との公共施設との連携 ⑤大型店との共存共栄 ⑥買物環境の向上 ⑦来街・出店の動機付け ⑧弱体化が懸念される商店街活動基盤の強化 (4) 基本的な考え方 - 本市の商業が抱える課題の解決に向けて、商業の振興に関する施策を総合的に推進していくための計画として策定する。 - 短期的かつ具体性のある施策の方向性（戦略）を示す計画とする。 (5) 商業振興の目標 ひとにやさしい商店街づくり	(6) 商業振興の方向性と目標達成のための施策展開 - 本市の商業が抱える様々な課題の解決に向けて、8つの方向性と施策の展開を定める。 ①商店街の発意・創意工夫・自助努力の促進 ・意欲ある商店街に対する支援 ②駅前エリアの商業集積強化 ・空き店舗の解消 ・女性や若者に選ばれる商店づくり ③多様なサービスが連鎖する商店街づくり ・新規出店や起業の推進 ・コミュニティの場づくり ④文化芸術と連携した商業活性化 ・文化芸術振興と商業活性化の好循環 ・プロムナードを活かしたにぎわいづくり ⑤商店街と大型店との連携による商業地の魅力向上 ・大型店からの来客と大型店従業員の顧客化 ・両者の取り組みによる商業地としての競争力強化（WIN-WIN連携） ⑥安心・快適に買物できる環境づくり ・歩いて買物しやすい環境づくり ・案内、外国人対応等の充実 ⑦商店街の魅力や独自性の発信 ・情報発信、情報共有の充実 ・体験や回遊を促進するイベントの開催 ⑧多彩なプレイヤーの連携による持続可能な商店街の基盤確立 ・若手・リーダーの育成 ・商店街同士の連携 ・地域との連携 (7) 計画の進行管理 - 施策の展開にあたり、事務事業評価や施策評価などを通じ、PDCAサイクルに基づいた計画の進行管理を行う。
経 過 H25. 4～ 大和市商業振興条例の施行 H26. 3～ 大和市商業戦略計画策定 H30. 8～ 9 商業振興に関するアンケートの実施 H30.10～12 商業振興に関する意見交換会の実施	今後の予定 H31. 2 市民意見公募手続の実施 H31. 3 計画改定